

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	いろは児童発達支援			
○保護者評価実施期間	令和8年6月15日 ～ 令和8年6月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数)	21名
○従業者評価実施期間	令和8年7月22日 ～ 令和8年7月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年8月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各関係機関(相談支援事業所・保育所・他事業所・小学校など)との連携を大事にし、利用児童への支援をきめ細かく行っています。	関係期間との良好な関係を築くため、定期的な報告や些細なことでも連絡調整を行っています。また、家族支援を重要視し、些細な変化や表情をくみ取り、支援に繋げている。	情報発信力を高めるとともに、話しやすい環境整備や人材育成に次空をいれる。
2	利用児童が安心して活動できる場の提供を考え、小規模事業所では珍しく専用グラウンドを整備している。	専用グラウンドを確保することで、安全に屋外活動できるように工夫している。また、熱中症対策として日除け主エードの取り付けや熱中症WBGT測定器を設置している。	夏場の活動時には、屋外ミストの設置も行う。
3	専門職による個別療育と保育士を中心とした集団療育に力を入れている。	遠城寺式乳幼児分析的発達検査表を用い、児童一人一人のアセスメントを行い、作業療法士を中心に個別療育計画を作成している。	個別療育内容の充実を図るとともに、集団活動内容を充実させる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	多機能型事業所ではなく、児童発達支援の単独型であるため、次の行き先が確保しにくい。	放課後等サービスの待機児童を降ろしたい。	児童発達支援の経営状況を安定させ、放課後等サービスの開設を目指す。
2	開設1年未満のため、集団活動内容や個別療育内容が乏しい。	他事業所の取組内容で良いところは積極的に取り入れ、事業所独自の改良を加えたい。	他事業所の見学や連携が図れる児童発達支援との交流を図る。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 いろは児童発達支援

公表日 令和8年 8月 22日

利用児童数 22名

回収数 21名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	0	0	0		・指定基準には含まれていない屋外活動のグラウンドを整備しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	1	0	1	・全部で何人いらっしゃるのか把握していないので、 ・配置数については把握していない。子どもたちへの関わりには十分な余裕がある体制であれば安心です。	・指定基準による基本人員に加え、加配職員2名、専門職員1名、の5名で支援にあたっています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	0	0	1	・直接見る機会が少ないため、現時点では判断が難しい。	・児童が安全に過ごせるような、家具の配置や導線を確保しているように感じる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	0	0	0		・業務後の清掃に加え、シーズン毎の入替除も実施しています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	0	0	1	・集団遊びに加え、個別活動もあり、個々の特性に合わせたプログラムを考えて下されている。	・児童発達支援管理責任者を中心に、個別支援計画や専門的支援計画を立案し、特性に応じた支援を提供しております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	0	0	1		・開設1年未満のため、見直しを行う予定です。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	0	0	0	・対話から支援計画を作成して下さり、子供もとても満足しているように感じる。 ・状況の応じて対応いただいていると感じております。 ・しっかりと話し合っていて決まっていたので、満足です。	・児童発達支援管理者が中心となり、保護者の方との面談や随時随時の連携、カンファレンスを通じて、児童の特性を考え、計画に活かしています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	0	0	1		・適切な支援内容となっています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	0	0	1	・結果が出て成長を実感するのを期待しております。	・支援計画をまとめたファイルがあり、いつでも確認ができる環境を整えています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	2	0	0	・四季折々のイベントやプログラムの工夫をされており、とても充実しているように感じる。 ・状況の応じて対応いただいていると感じております。 ・活動の詳細は把握していない、季節に合わせた政策を取り入れられており工夫されているように感じます。	・通常プログラムに加え、季節ごとの行事やイベントを実施しています。また、通常プログラムは定期的に見直しを行っています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	0	3	9	・入所（利用）したばかりのため、 ・地域の子どもたちと共に活動し、交流する機会を大切にしたい。 ・園に通いながら利用しているため必要性を感じない。	・隣接する保育園との交流や、他の施設等での交流を図っています。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	0	0	0		・十分な時間をとって、説明を行っています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	0	0	0	・丁寧に説明して下さり、ありがたいです。	・十分な時間をとって、説明を行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	0	3	3	・就学説明会の案内をいただけて促されましたが、有益な情報が多く助かりました。 ・写真で活動の様子を知ることができてありがたかったです。	・家族交流会の企画運営を行います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20	1	0	0	・コドモンの連絡帳にて細かく活動内容を報告して下さったり、送迎時にも伝えて下さるのがとても助かっています。 ・やり取りがスムーズで安心しています。相談しやすいです。	・コドモンでのメール報告や定期的な面談を実施し、保護者の思いをくみ取る機会を設けています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	5	0	1	・都度アドバイスをお伝えしています。 ・面談をしたことはないがアプリで連絡・相談ができています。	・定期的な面談の機会を持っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1	0	1	・いろはさんに通う前は、1人で考えて不安になることも多かったですが、今は気になることがあっても先生方がとても相談しやすいので、以前程不安な気持ちになることなく過ごせています。先生方は日々こどもの状況に大変親切丁寧に寄り添ってくださって感謝の気持ちでいっぱいです。いつもありがとうございます。	・気軽に話せる雰囲気づくりに努めています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	0	5	12	・入所（利用）したばかりのため ・現在のところ、保護者同士の交流の機会はまだ希望していません。 ・交流の場があればぜひ教えていただきたいです。	・保育所入所を希望する保護者に対する支援（先輩ママによる体験談）を開催しました。今後、家族会等の検討を行います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	0	0	2		・フライバーに配慮した面談室を設けており、相談対応や面談に利用できる環境を整えています。また、保護者の悩みや相談事を早期にキャッチできるよう努めています。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	1	0	0		・プライバシーに配慮した面談室を設けており、相談対応や面談に利用できる環境を整えています。また、保護者の悩みや相談事を早期にキャッチできるような努めています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	0	0	0	・コドモンの発信いつもわかりやすいです。	・日々の活動報告として、連絡帳機能を持った支援ソフトを使用しています。また、インスタグラムやホームページなどで情報発信をしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	0		・個人情報の適切な管理を行うための研修や個人ファイルの持ち出し禁止指針や書類には鍵をかけています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	0	0	1	・避難訓練の様子をしっかり伝えていただいて、災害の際も慌てず行動出来そうです。 ・防犯と感染症対応はされていると思う。	・各種マニュアルの作成、随時訓練を行っています。また、マニュアルは玄関に設置し、いつでも閲覧できる状態にしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	0	0	0	・避難訓練の様子をしっかり伝えていただいて、災害の際も慌てず行動出来そうです。	・避難訓練は年度と位置づけ、基準に定められた回数を上回る避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	0	0	0		・ヒヤリハットの活用をしています。また、日々の終礼において、活動内容の検証や危険な箇所は無いか確認するようにしています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	0	0	1		・契約時に説明しているほか、定期的に連絡先の確認を行っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	1	0	0	・「ドキドキ」と言っているのではありません。 ・子どもの様子から、居心地の良さが伝わってきます。	・子ども達が安心して過ごせる空間作りを行います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	2	0	0	・朝支度が終わると窓を指さしてお迎えを心待ちにしています。	・子ども達が楽しく過ごせるように支援していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	0	0	0	・頼れる先生方のおかげで安心して子供を預けようと思えてきていて、父母共に「いるはさんに迎えられてよかったよね～」と日々話しています。いつも本当にありがとうございます。 ・いつもありがとうございます。 ・大満足です。引き続きよろしくお願いいたします。	・満足度を高められるよう日々振り返りを行います。

事業所名		いろは児童発達支援		公表日		令和8年 8月22日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・療育室にアコーディオンカーテンを設置し、状況に応じて部屋を分けて使用している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・特性がつよい子が多くてなかなかまとまらないときもあるが、児 院 管 理 者 に 大 量 な 場 面 は 協 力 し て も ら い な が ら 活 動 し て い る。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・絵カードなどを使って視覚からも情報が得られるようにしている。 ・一日のスケジュールが視覚でも分かるように提示し、朝の会で子供達に伝えている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・児童の滞所後に毎日清掃を行っている。その時におもちゃの消毒も実施している。	・掃除は行き届いているが、虫の大量発生が気になります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	・毎日の朝礼、終礼での確認やモニタリングの実施で共有を行っている。 ・終礼で1日を振り返って意見を言い合える環境がある点。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・毎日、終礼を行い子供の状況や業務についての話し合いの場を持っている。 ・終礼で実施、個別に聞き取りを行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0		・保護者の同意は得られているが、内容の充実にはさらなるアセスメントが必要。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0			
	14	児童発達支援計画が職員間にも共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・支援計画用のファイルを作成し、確認しやすい状況を作っている。更新時等業務連絡で知らせている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	・5領域20項目、達成率式の2つに沿って評価を実施している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・児童の年齢や利用している事業所や画を含めて考え作成している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・プールや夏祭り、ハロウィンなど行事も取り入れている。	・「慣れ」とのバランスに悩んでいる。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・日案を日々作成し、チームで話し合い、子供の担当や食事介助の担当場所などを書いています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・終礼等を行い、情報を共有している。 ・毎日終礼で話し合う場を持っている。日案に記録も残している。 ・終礼で実施。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	・日案の用紙に記入し、休みの日の翌日には必ず目を通している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・アセスメント、モニタリングを実施。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・ルネサスや保育園、幼稚園と情報共有の機会を持っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	7		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	・家族へのプレゼントの製作、七夕の短冊を保護者と一緒に考える時間。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・コドモンのメールや電話、面談で対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・機関紙やインスタで発信を行っている。 ・コドモン、インスタ、HPなどを行っている点。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	・サ高住との交流や行事が年2回ほどある。 ・夏祭り	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・初回アセスメントで聞き取りを行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	・医師の指示書は活用できていない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・ヒヤリハットやケガが起こった箇所をすぐに報告し、直して再発防止に向けている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1		